

製本のススメ

Vol. 18

アウトドアな季節になりましたね、海もプールも解禁で夏真っ盛りといった感じです。子供たちも夏休みですから、こんな時くらいは仕事の手も少し休めて、家族サービスをしておきましょう。

今回は同じだけれど全く違う加工のお話

これは、マジックと超能力に似ているかも?! トランプの数字を当ててるのもスプーンを触らずに曲げるのも、マジシャンは仕掛けで・超能力者は念力で皆を驚かせるのですが、どちらも結果は同じですね。

さて 筋入れや、ミシン加工、穴加工、断裁加工と、これらは全て製本でもお馴染みですが、ビク抜き屋さんでも同様の加工ができます。

何万枚もの紙に筋やミシン刃入れ、また何回もリピートされる品物ならば製本代より安い場合もあります。抜き型にそれぞれの刃をいれておけば同時に断裁仕上げさえも出来ます。

例えば定期入れに入るようなカードを例にしてみると

製本加工では【断裁する⇒角丸する】ですが、

ビク抜きでは【型抜きする】だけです。

あらかじめ、カード形の抜き型を作っておりますから

加工は1回で済むので、加工工程数が少なくなり

ランニングコストも安価で出来るわけです。しかし

別途抜き型が必要なので、その費用が加わる事と

また刷り本位置にあわせた型刃を入れる事などが

要求されますので、短納期では難しくゆとりある工程管理が不可欠です。

さらに、穴加工は不得意ですから、一緒に穴もあけちゃおう! というのはかえって無駄が発生する事もしばしばあります。



Teabreak

日差しも強くなる季節 日射病の予防には帽子が欠かせませんね。暑い国で被るといえば、アラブの人達が被っている布です。あれは布を「ゴドラ」といいリングは「イガール」と言うそうです。実はゴドラの下には「クフィーヤ」という丸い帽子を被っています。さらに「ゴドラ」は夏用の薄い生地、冬には「シマーク」という厚手の生地になるとか。でもアラブの国に冬ってあったかな?

by (株) 井関製本